



01 リハビリテーション市民公開講座のご案内



リハビリテーション技術科では、毎年市民を対象に公開講座を開催していました。新型コロナウイルス感染流行時は中断していましたが、昨年度より公開講座を再開しました。

今年度は、理学療法士による「転倒予防の対

策」について講演・実技を予定しています。令和5年11月から12月頃に開催予定ですが、日程の詳細が決まりましたら、当院ホームページ、広報「とよかわ」などで参加の申し込み方法などをお知らせします。

02 内視鏡センターに最新のX線TV装置を導入しました

内視鏡センターTV室に最新のX線TV装置(富士フィルム社製)を導入しました。X線TV装置とは、お腹や胸など、体の内部を静止画として観察するのではなく、動画像としてリアルタイムにモニターで観察できる装置です。

今回導入したX線TV装置は、患者さんを動かすことなく、より安全で的確に検査・治療を行うことができ、高度な内視鏡検査・治療を担う消化器内科などの医師を支援する最上位機種となっています。

より低被ばくの検査・治療が可能に。

透視パルスレート(被ばく線量)を1/2に設定しても、画質を劣化させることなく滑らかな表示が



■ デジタルX線透視撮影システム「CUREVISTA Apex」
X線透視下での内視鏡検査・治療に特化したX線TV装置。

可能となっているため、長時間の透視を要するERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)などの治療で被ばく線量を低減することが可能となっていま

す。また、患者さんだけでなく、検査に携わる医師・看護師・診療放射線技師などすべてのスタッフの被ばく線量を低減することができます。

患者さんを動かすことなく、よりの確に。

従来の内視鏡用TV装置ではできなかった左右軸方向「ななめ」にアームが可動するため、肝内胆管の重なりや前後が分かりづらい時などでも、患者さんを動かすことなく角度を変えて安全に観察することができます。

■ 3方向(縦・横・斜め)にアームが可動。患者さんやテーブルを動かす必要がないため安全に検査・治療を行うことが可能。



高精細な画像処理と照射線量の見える可。

最先端の画像処理エンジンにより、手術や治療の際に血管などへ挿入される微細なガイドワイヤーなどを高精細に映し出すことができるほか、散乱する照射線量をモニタリングできる機能を備えているため、被ばく線量の低減に向けた検討も可能となっています。

03 認定看護師ってどんな資格



認定看護師とは、特定の看護分野において深い知識と熟練した技術を持つと認められた看護師で、日本看護協会が定める600時間以上の認定看護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格することで取得できる資格です。当院には、救急看護の他、がん性疼痛、糖尿病や認知症など、12分野19人の認定看護師が在籍しています。

認定看護師は、医師を始めとする多くのスタッフと連携し、治療方法や療養生活など、各分野の専門性を活かしながら、地域の皆さんがその人らしく過ごせるようサポートしています。

認定看護師制度

看護ケアの広がりや質の向上を図ることを目的に1995年創設。令和5年3月時点、全国で22,866人が認定。

04 豊川市民病院ドクターカー運行中



当院では、患者さんの命や健康を守るため、救急車の出動とほぼ同時に医師や看護師が救急現場へ駆けつけるドクターカーの運行を開始しました。令和4年10月11日の初出動以降、順調に症例を重ね、令和4年度での出動実績は100件を記録しました。ドクターカーの運行により通常の救急搬送よりも早期に医師による医療行為が開始されることから、救命率の向上と後遺症の軽減が期待されています

令和4年度出動実績

運行日数	出動	出動(日)
81.5日	100件	1.22件/日

※ドクターカーは、救急車や消防車と同様にサイレンを鳴らし緊急走行をします。また、救急車とドッキングするために、道路上や駐車場内等で一時的に停車することがありますが、ご理解とご協力をお願いします。

05 がん相談支援センターのご案内

がん相談に関する専門の研修を修了した看護師が中心となり、がんに関する全般的なご相談をお受けしています。当院の患者さん以外でもご利用いただくことができますので、お気軽にご相談ください。

日時 平日 10:00~16:00

場所 豊川市民病院 医療相談室

対象 がん患者さんとそのご家族

申込 患者サポートセンター患者相談グループ(0533-86-1111)(代表)へ。

【相談例】

- がんの治療や薬に関すること
- 症状や痛みについて
- がんと共に生活するための情報
- 費用に関すること
- セカンドオピニオンについて



06 7月の行事食



土用の丑メニュー

土用の丑の日は、夏の土用の時期にある丑の日のことを指します。日本には、暑さに対する滋養強壮として鰻を食べる習慣があることが知られています。元々は、江戸時代後期から始まった習慣ですが、初めは「う」の付くものを(瓜やうどんなど)食べていたそうです。

鰻には抗酸化作用のあるビタミンAや、免疫力を高めるビタミンEなどたくさんの栄養が含まれている栄養価の高い食材です。夏の暑さにも負けないよう日頃から免疫力を高められるように様々な食材を食べましょう。